



# 2022年3月期 第2四半期 決算説明会

2021年11月11日

japan elevator service



ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社

(東証一部：6544)

**1**

**サマリー**

**2**

**上期のトピックス**

**3**

**2022年3月期 第2四半期決算概要**

**4**

**2022年3月期 連結業績予想**



# サマリー

## 【2022年3月期第2四半期の概況】

- 新型コロナウイルス感染症拡大の状況下、当社は社会インフラを支えるサービス会社として、売上高139億円（前期比126.8%）、営業利益18億円（前期比113.1%）と、増収増益を達成
- JES単体の成長に加え、2021年3月期から増加したM&Aグループ会社の貢献により、2021年9月末の保守契約台数は約74,500台と2021年3月末から約7,000台の増加
- 保守・保全事業の売上高は101億円（前期比122.7%）と堅調に進捗
- リニューアル事業は、コロナウィルスの影響を乗り越え、35億円（前期比148.6%）と大幅に増加
- 全国展開に向け、技術員中心に積極的な採用を実施  
前期上期の60名増に対し、今期上期は152名増と前期比253.3%

## 【2022年3月期下期見通し】

- 経済環境の不透明感が続くが、2022年3月期下期は、保守・保全事業、リニューアル事業ともに安定的に進捗  
売上高146億円、営業利益23億円を見込み、過去最高益を達成する見通し
- 当期において、愛媛県・高知県・徳島県で高いシェアを誇る独立系企業をM&Aによりグループ会社化するとともに  
東北地方、北信越地方での新規営業所の開設も実施
- これまで未進出であった、東北・中四国・北信越地方での事業拡大に向け、メンテナンス人員の確保は一層重要な課題と認識  
中長期視点から、来期新卒採用に加え、下期も引き続き技術経験者の積極的な採用を継続する見通し

## 【2022年3月期業績予想】

- 人材確保・獲得、M&Aによる未進出エリアの営業活動の推進、管理体制の強化により、  
2022年3月期における保守契約純増台数は、計画を超える10,000台超を見込み、保守・保全事業は堅調に進捗
- リニューアル事業の売上高は74億（前期比118.2%）と、当初計画を大幅に達成見込み
- 2022年3月期の売上高は285億円と、2021年5月に公表した2022年3月期業績予想から15億円の上方修正
- 配当予想は年間13円（前期比+1円）



## 概況

### 保守・保全

- ・2021年9月末 保守契約台数（国内）：約74,500台
- ・上期純増数：約7,000台（単体：約4,600台、M&A：約2,400台）
- ・経費削減ニーズの高まりにより、単体での上期純増数は過去最大数を更新

### 一括RN

- ・上期実績（国内）：約520台
- ・前期上期実績（国内）約360台より大幅増加

### Quick Renewal

- ・開発完了機種：12機種
- ・油圧制御エレベーターの開発が完了し、油圧式エレベーターのQuick Renewal対応が可能に

### Lift SPOT

- ・2021年9月末 成約台数：約8,300台
- ・広告主への効果的なアプローチのため、設置台数の増強を図る（早期に10,000台設置を目指す）

### 立体駐車場

- ・グループ全体で約9,000パレット突破
- ・上期純増数：約1,200パレット
- ・西日本サービスセンターを新規開設、首都圏に加え、京都府・大阪府・兵庫県にも展開エリアを拡大

### M & A

- ・上期発表済：4社
- 1、(株)トヨタファシリティサービス：BS（1Q）計上済み、PL（2Q）計上済み
- 2、エヒメエレベーターサービス(株)：BS（2Q）計上済み、PL（3Q）計上予定
- 3、四国昇降機サービス(株)：BS（2Q）計上済み、PL（3Q）計上予定
- 4、四国エレベーターサービス(株)：BS（3Q）計上予定、PL（4Q）計上予定

### 人員状況

- ・2021年9月末 従業員数：1,550名（M&A含む）
- ・上期純増数：152名 前期純増数60名から積極的な技術員の採用を行い、純増数250%
- ・全国展開に向けて、技術員を中心に積極採用



# 上期のトピックス

## 保守契約台数（国内）

約**74,500**台

（2021年9月末時点）

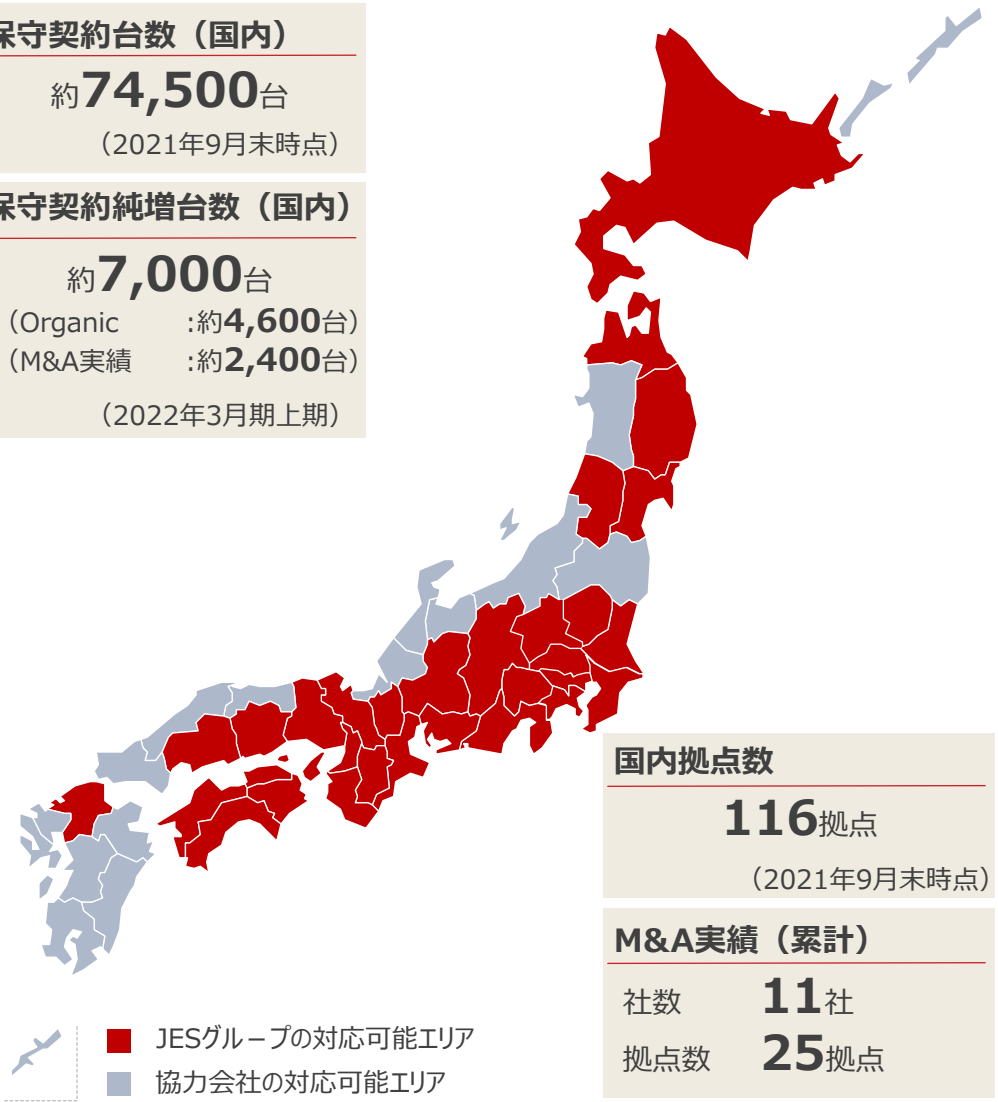
## 保守契約純増台数（国内）

約**7,000**台

（Organic :約**4,600**台）

（M&A実績 :約**2,400**台）

（2022年3月期上期）



## 国内拠点数

**116**拠点

（2021年9月末時点）

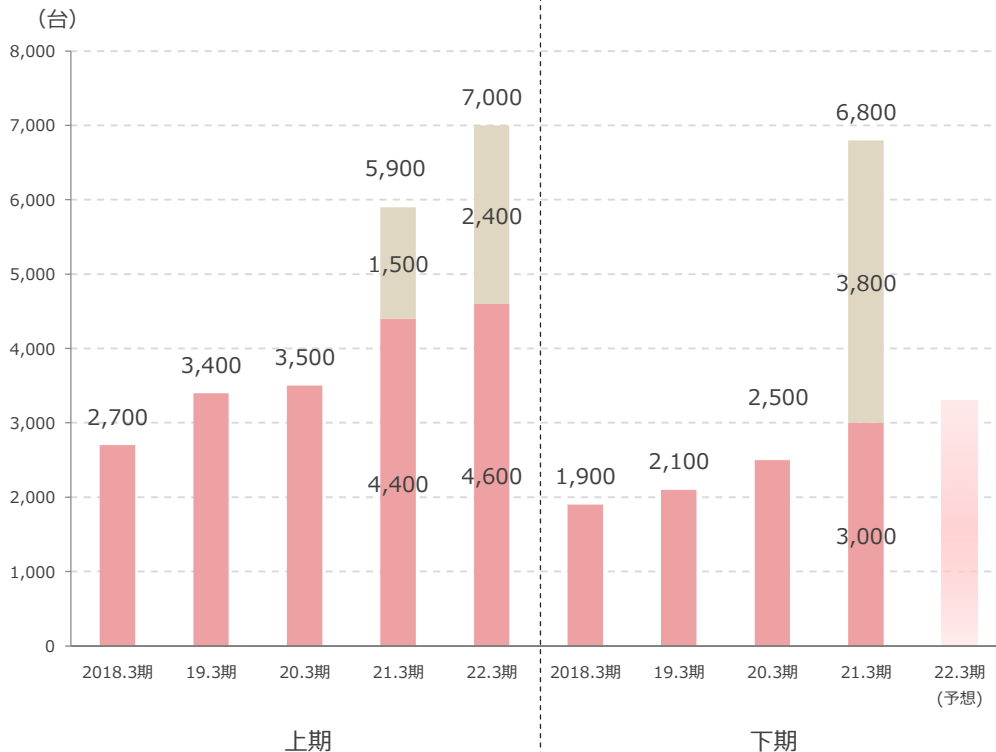
## M&A実績（累計）

社数 **11**社

拠点数 **25**拠点

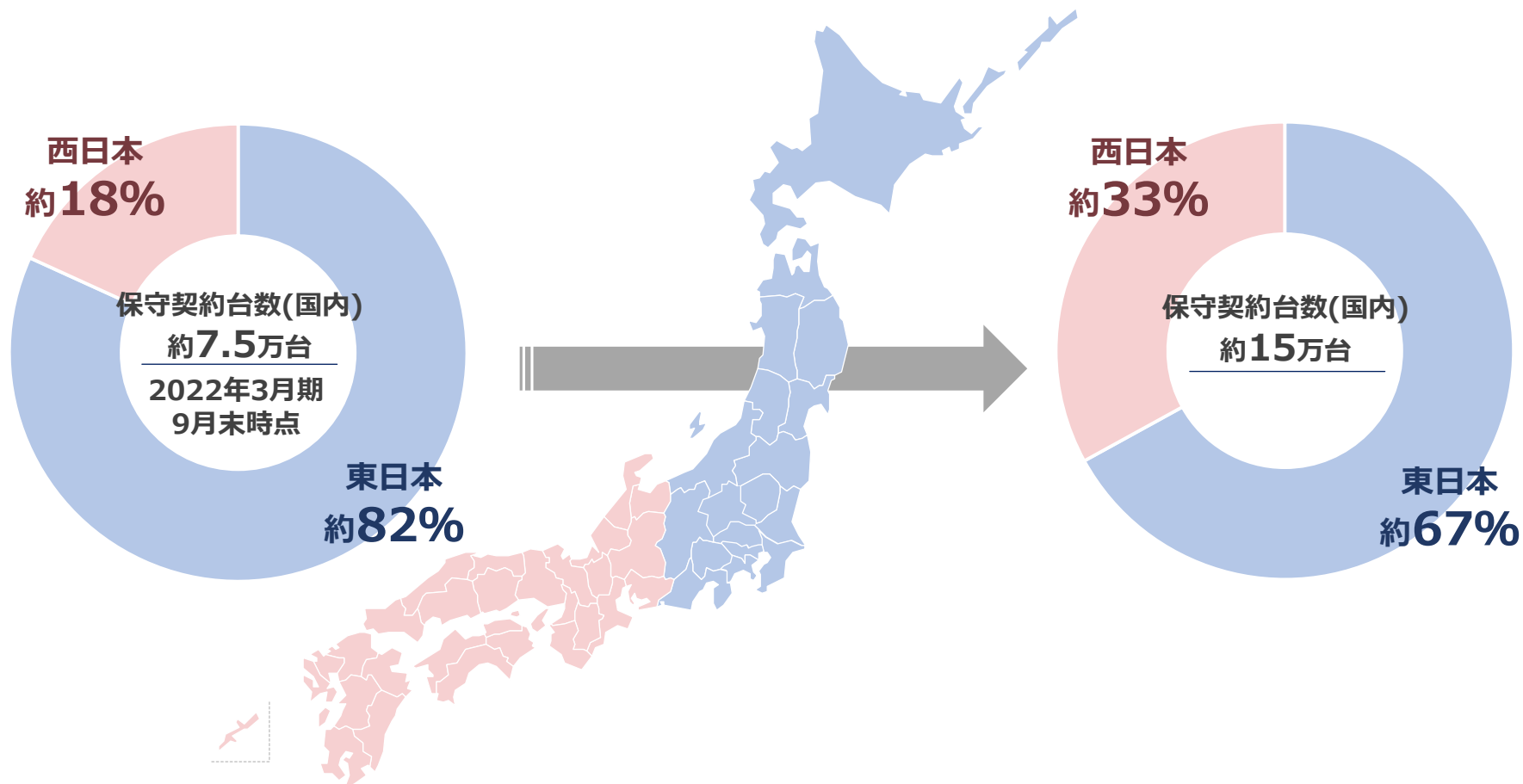
■ JESグループの対応可能エリア  
■ 協力会社の対応可能エリア

## 保守契約純増台数



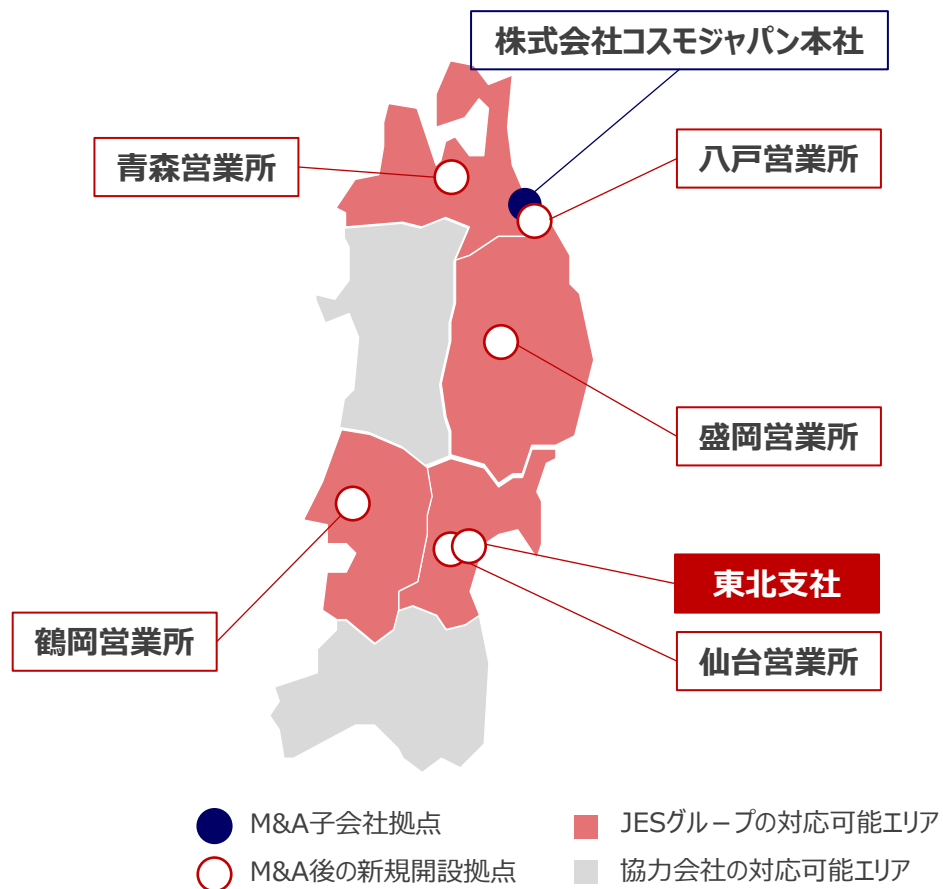
- 2022年3月期上期の純増数はM&Aを含め約7,000台と過去最大数を更新
- 上場以降、営業エリアの拡大、信用力・ブランドの向上により、毎年連続して純増台数を伸ばすことに成功
- 今後、さらなるマーケットの拡大により、早期に通期の純増台数10,000台を目指す

- 未進出エリアであった東西日本地区内に、M&Aにより新たなマーケット(東北地方／中国・四国地方)を獲得
- 未進出エリアでのシェア獲得のため、拠点開所・営業体制構築などの先行投資を実施
- 各地方での契約台数増加・生産性向上により、営業利益率20%を目指す



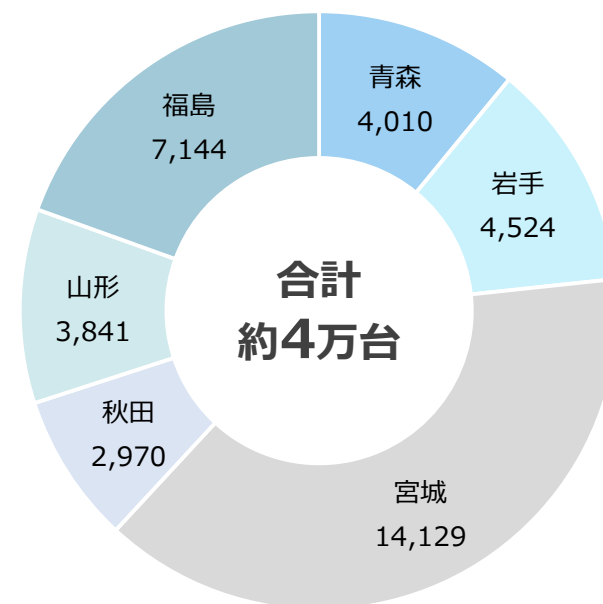


## 東北地方



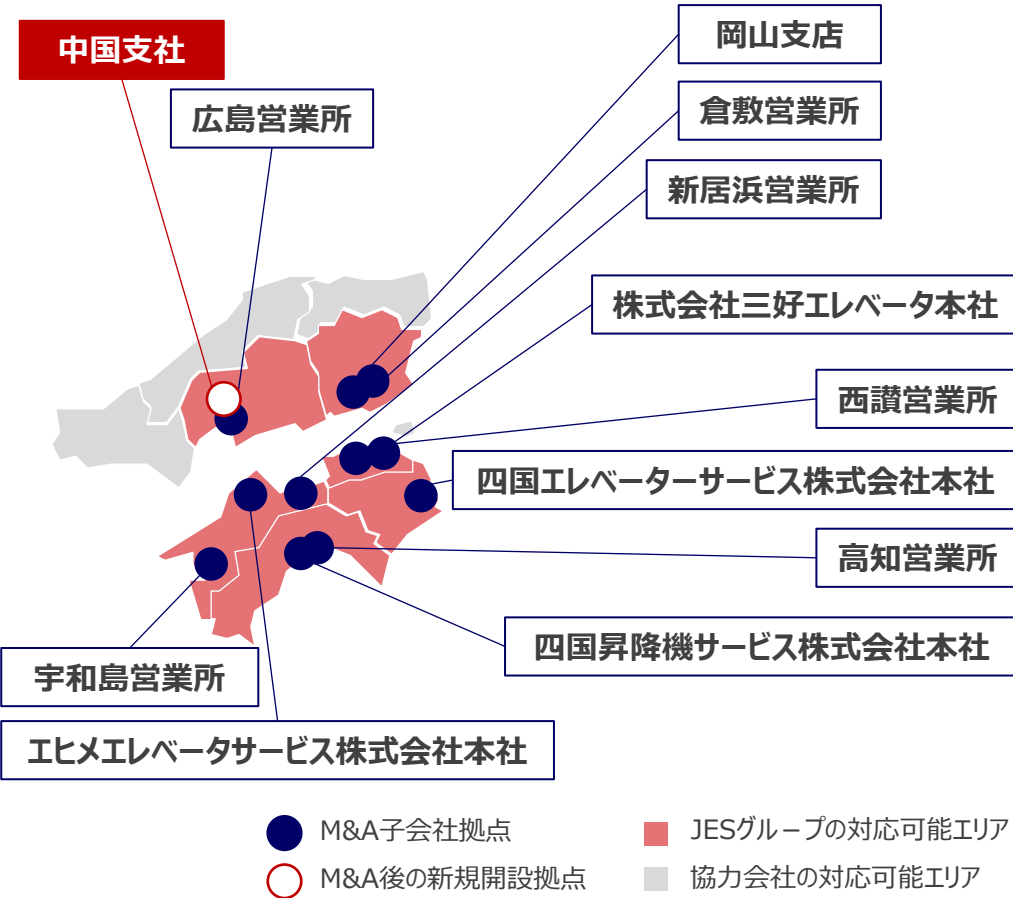
## 東北地方の保守対象エレベーター台数

一般社団法人日本エレベーター協会調べ  
(2020年度昇降機設置台数等調査結果報告)



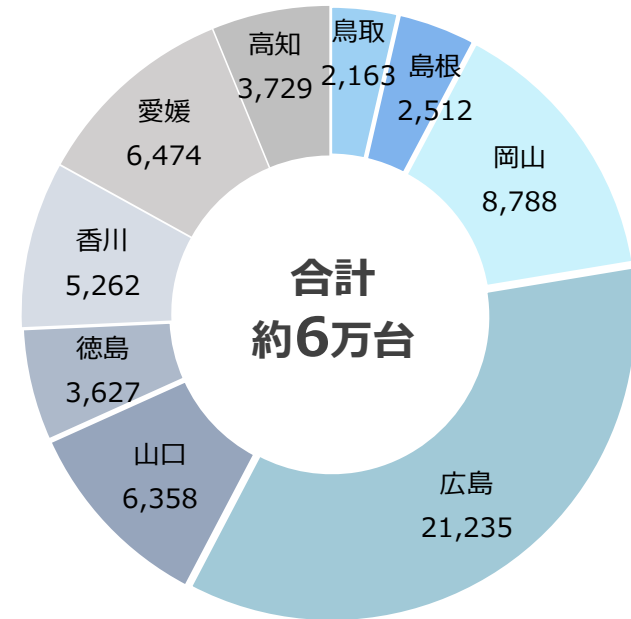
- 東北地区への注力により、約4万台の新規マーケットを獲得
- 宮城県仙台市に東北支社を開設し、営業体制を強化
- 新たにJES営業所を5拠点開設し、保守体制を強化

## 中国・四国地方



## 中国・四国地方の保守対象エレベーター台数

一般社団法人日本エレベーター協会調べ  
(2020年度昇降機設置台数等調査結果報告)



- 中国・四国地区への注力により、約6万台の新規マーケットを獲得
- 各県最大規模の独立系をM&A子会社化
- 広島県広島市に中国支社を開設し、営業体制を強化

## M&A会社 経営統合の進捗状況

M&A後の経営統合作業（PMI Post Merger Integration）を順次進捗させている  
具体的な取り組みは以下の通り

### （売上増加）

- 営業体制の構築支援、各種商材の提供、JESグループとしてのブランド・信用力の獲得

### （コスト削減）

- 部材、消耗品をグループ全体で一括購入し、仕入単価を抑制するスケールメリットの享受
- 各種製造経費、販管費に関しても、グループ共通利用による間接費削減

### （品質向上）

- JESグループとしての品質維持・向上のため、JESグループのSTEP24研修の導入
- 各会社にJES技術担当を設置するとともに、物件管理情報等のシステム統合を進め、一元管理

**上記施策を通じ、M&A会社の売上増、コスト低減、品質向上を実現**

**M&A会社も含めたグループ全体の企業価値の向上**

# 2022年3月期 第2四半期決算概要

# 2022年3月期第2四半期決算概要(業績)

(百万円)

	2021年3月期 2Q		2022年3月期 2Q		前期比 (%)	業績予想 (5月12日公表分)	備考
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)			
売上高	<u>10,967</u>	100.0	<u>13,906</u>	100.0	126.8	<u>12,400</u>	保守・保全売上の増加 1,872百万円 リニューアル売上の増加 1,138百万円
原価	6,687	61.0	8,557	61.5	128.0		
売上総利益	4,280	39.0	5,349	38.5	125.0		
販管費	2,663	24.3	3,520	25.3	132.2		
営業利益	<u>1,617</u>	14.7	<u>1,828</u>	13.2	113.1	<u>1,750</u>	営業利益増加 211百万円
営業外収益	106	1.0	115	0.8	108.4		保険解約返戻金 103百万円
営業外費用	21	0.2	12	0.1	57.0		支払利息 7百万円
経常利益	<u>1,703</u>	15.5	<u>1,932</u>	13.9	113.5	<u>1,800</u>	
特別利益	14	0.1	6	0.0	44.4		固定資産売却益 6百万円
特別損失	0	0.0	2	0.0	317.1		固定資産除却損 2百万円
税金等調整前 四半期純利益	1,717	15.7	1,937	13.9	112.8		
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	<u>1,105</u>	10.1	<u>1,212</u>	8.7	109.6	<u>1,120</u>	親会社株主に帰属する四半期純利益増加 106百万円



# 2022年3月期第2四半期決算概要(売上種類別)

(百万円)

	2021年3月期 2Q		2022年3月期 2Q		前期比 (%)	業績予想 (5月12日 公表分)	備考
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)			
保守・保全業務	8,240	75.1	10,112	72.7	122.7	9,100	保守管理台数の増加に伴い売上増
リニューアル業務	2,344	21.4	3,483	25.1	148.6	3,000	リニューアル台数の増加に伴い売上増
その他	382	3.5	310	2.2	81.3	300	
合計	<u>10,967</u>	100.0	<u>13,906</u>	100.0	126.8	12,400	

# 2022年3月期第2四半期決算概要 (B/S)

(百万円)

	2021年3月期 2Q		2021年3月期		2022年3月期 2Q		前期 末比 (%)	備考
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)		
流動資産	6,602	42.6	8,168	39.9	8,639	38.9	105.8	
現金 及び預金	1,420	9.2	1,674	8.2	1,862	8.4	111.3	
受取手形 及び売掛金	2,791	18.0	3,606	17.6	3,628	16.4	100.6	
有形固定資産	6,293	40.6	8,175	39.9	8,638	38.9	105.7	主に工具器具備品の増加
無形固定資産	1,441	9.3	2,610	12.7	3,390	15.3	129.9	M&Aによるのれんの増加 578百万円
投資その他の資産	1,151	7.4	1,520	7.4	1,512	6.8	99.5	
固定資産	8,886	57.4	12,305	60.1	13,542	61.1	110.0	
資産合計	<u>15,489</u>	100.0	20,473	100.0	<u>22,181</u>	100.0	108.3	
流動負債	4,543	29.3	7,242	35.4	9,001	40.6	124.3	短期借入金の増加 1,814百万円
固定負債	2,026	13.1	2,725	13.3	2,486	11.2	91.2	長期借入金の減少 313百万円
負債合計	<u>6,570</u>	42.4	9,968	48.7	<u>11,488</u>	51.8	115.2	
純資産合計	<u>8,919</u>	57.6	10,505	51.3	<u>10,693</u>	48.2	101.8	
負債・純資産合計	<u>15,489</u>	100.0	20,473	100.0	<u>22,181</u>	100.0	108.3	



# 2022年3月期 連結業績予想

# 2022年3月期連結業績予想

単 位 : 百 万 円 , %	上期				下期				通期			
	2021/3	2022/3 予想	2022/3 実績		2021/3	2022/3 当初予想	2022/3 修正予想		2021/3	2022/3 当初予想	2022/3 修正予想	
	金額	金額	金額	前年 同期比	金額	金額	金額	前年 同期比	金額	金額	金額	前期比
売上高	10,967	12,400	13,906	126.8	13,553	14,600	14,594	107.6	24,521	27,000	28,500	116.2
営業利益	1,617	1,750	1,828	113.1	1,994	2,350	2,272	113.9	3,612	4,100	4,100	113.5
経常利益	1,703	1,800	1,932	113.5	2,012	2,400	2,268	112.7	3,715	4,200	4,200	113.0
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,105	1,120	1,212	109.6	1,256	1,480	1,388	110.5	2,362	2,600	2,600	110.0
	売上比	売上比	売上比		売上比	売上比	売上比		売上比	売上比	売上比	
売上総利益率	39.0	39.1	38.5		38.0	39.7	39.5		38.5	39.4	39.0	
販売管理費率	24.3	25.0	25.3		23.3	23.6	23.9		23.7	24.2	24.6	
営業利益率	14.7	14.1	13.2		14.7	16.1	15.6		14.7	15.2	14.4	
経常利益率	15.5	14.5	13.9		14.8	16.4	15.5		15.2	15.6	14.7	
当期純利益率	10.1	9.0	8.7		9.3	10.1	9.5		9.6	9.6	9.1	

# 2022年3月期連結業績予想（売上種別）

単 位 : 百 万 円 , %	上期				下期				通期			
	2021/3	2022/3 予想	2022/3 実績		2021/3	2022/3 当初予想	2022/3 修正予想		2021/3	2022/3 当初予想	2021/3 修正予想	
	金額	金額	金額	前年 同期比	金額	金額	金額	前年 同期比	金額	金額	金額	前期比
保守・保全業務	8,240	9,100	10,112	122.7	9,235	10,300	10,297	111.5	17,476	19,400	20,410	116.8
リニューアル業務	2,344	3,000	3,483	148.6	3,985	4,000	3,996	100.3	6,330	7,000	7,480	118.2
そ の 他	382	300	310	81.3	332	300	300	90.3	714	600	610	85.4
合 計	10,967	12,400	13,906	126.8	13,553	14,600	14,594	107.7	24,521	27,000	28,500	116.2

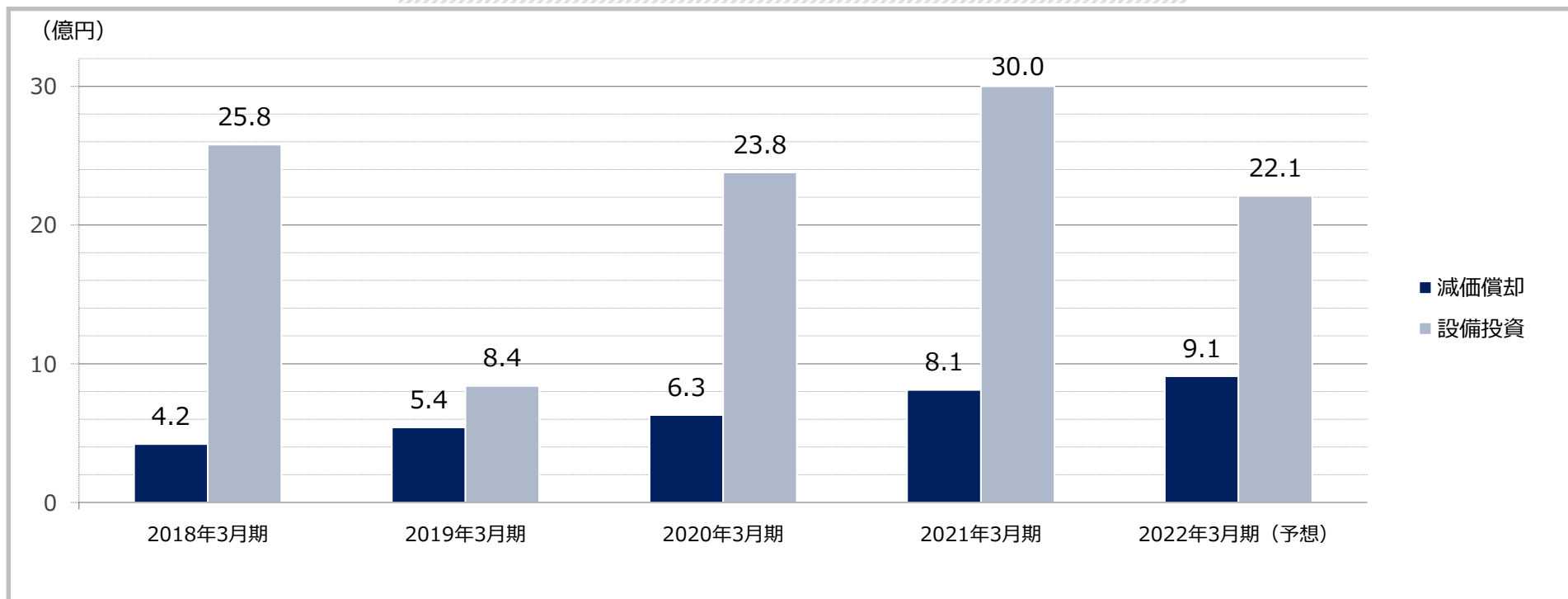


# 2022年3月期連結業績予想（設備投資・減価償却）

(億円)

	2021年3月期	2022年3月期（予想）	備考
減価償却費	8.1	9.1	
設備投資費	30.0	22.1	リモート遠隔点検サービス「Prime」に関する投資等

## 設備投資と減価償却費の推移



	2020/3月期	2021/3月期	2022/3月期	前期比
	実績	実績	予定	
年間配当額	18円 00銭	12円00銭	<b>13円00銭</b>	+ 1円
期末配当額	18円 00銭	12円00銭	<b>13円00銭</b>	+ 1円
記念配当額	—	—	—	—
配当金総額	729 百万円	1,062百万円	<b>1,153百万円</b>	+91百万円
配当性向（連結）	42.8%	43.6%	<b>44.4%</b>	+ 0.8 p
記念配当除く	42.8%	43.6%	<b>44.4%</b>	+ 0.8 p
純資産配当率（連結）	16.1%	13.4%	<b>10.4%</b>	△ 3.0 p

増配

前年比  
109%



# 参考資料

ベトナムの独立系エレベーター会社であるUNIECO社をM&Aにより子会社化

⇒商号を**JAPAN UNIECO ELEVATOR SERVICE (JUES)**に変更し、ベトナム市場へ進出

## 【背景】

- 2020年3月、現地企業と合併会社であるJESインドネシアを設立し、インドネシア市場へ進出
  - 2021年11月、東南アジア圏の第2の拠点として、ベトナムの首都ハノイを中心に事業展開する、ベトナムの独立系エレベーター会社である、UNIECO社のM&A子会社化を決定
  - UNIECO社の顧客・現地ネットワークに、JESが培った技術力を組み合わせ、ベトナム市場に新たに進出
- 【ご参考】UNIECO社のベトナムにおける保守契約実績：ノイバイ空港（ハノイ）・・・エレベーター等 約100台

## 【マーケット】

- ベトナムは高い経済成長を背景に、空港・地下鉄・商業施設の建設が増加
- 高層・ハイエンド志向の高まりにより、エレベーター需要は拡大し続けており、新規設置、保守マーケットも高い成長が期待
- 特にメーカーによる新設市場が活況であり、現時点で独立系企業のシェアは低いですが、保守契約における低コストニーズは高く、今後、独立系メンテナンス会社のシェア拡大が期待

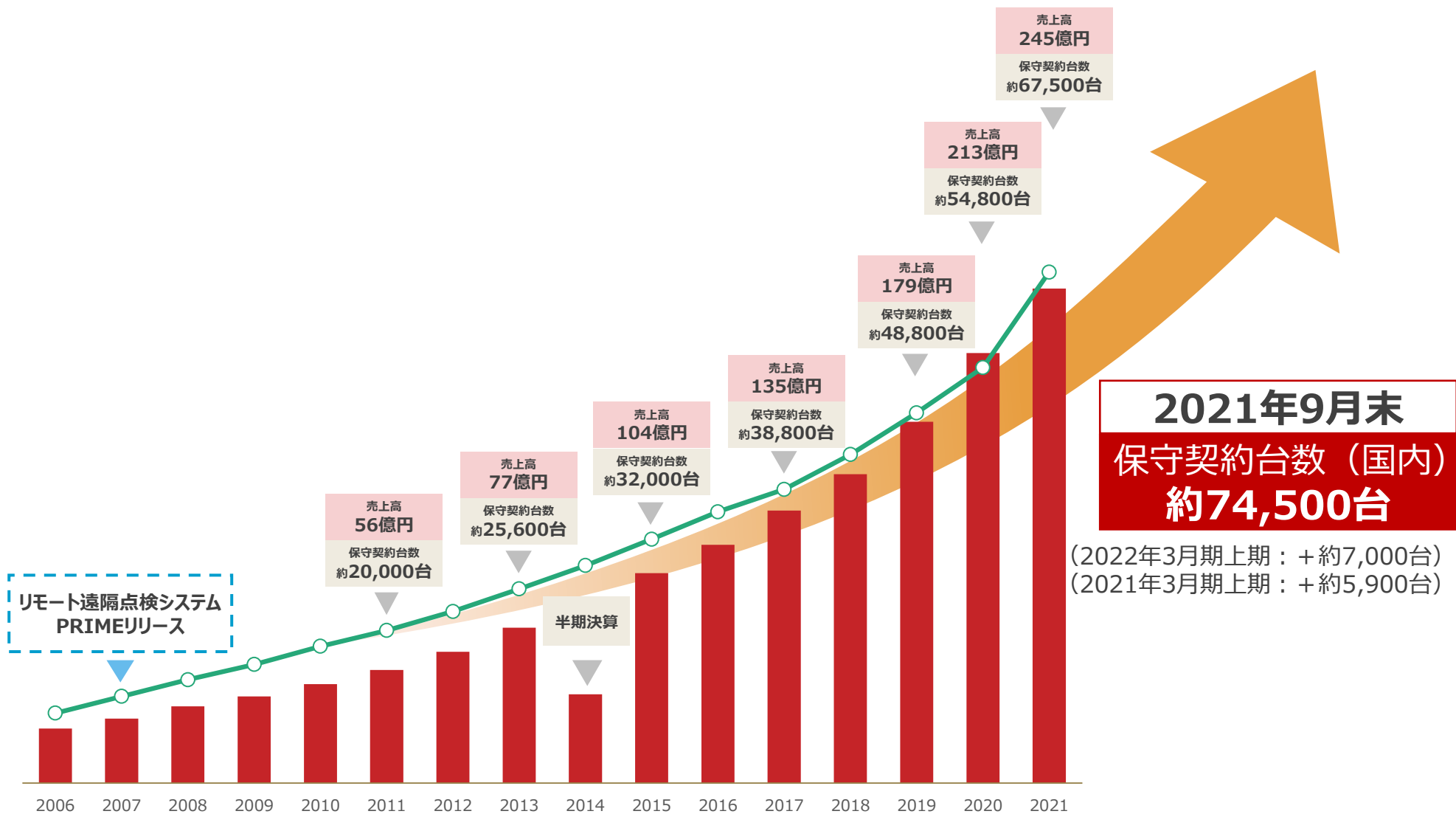
インドネシア（ジャカルタ）に次ぐ第2の東南アジア拠点



ベトナムにおける独立系企業の管理台数シェア



(当社調べ)



**2021年9月末**  
保守契約台数 (国内)  
**約74,500台**

(2022年3月期上期 : +約7,000台)  
(2021年3月期上期 : +約5,900台)

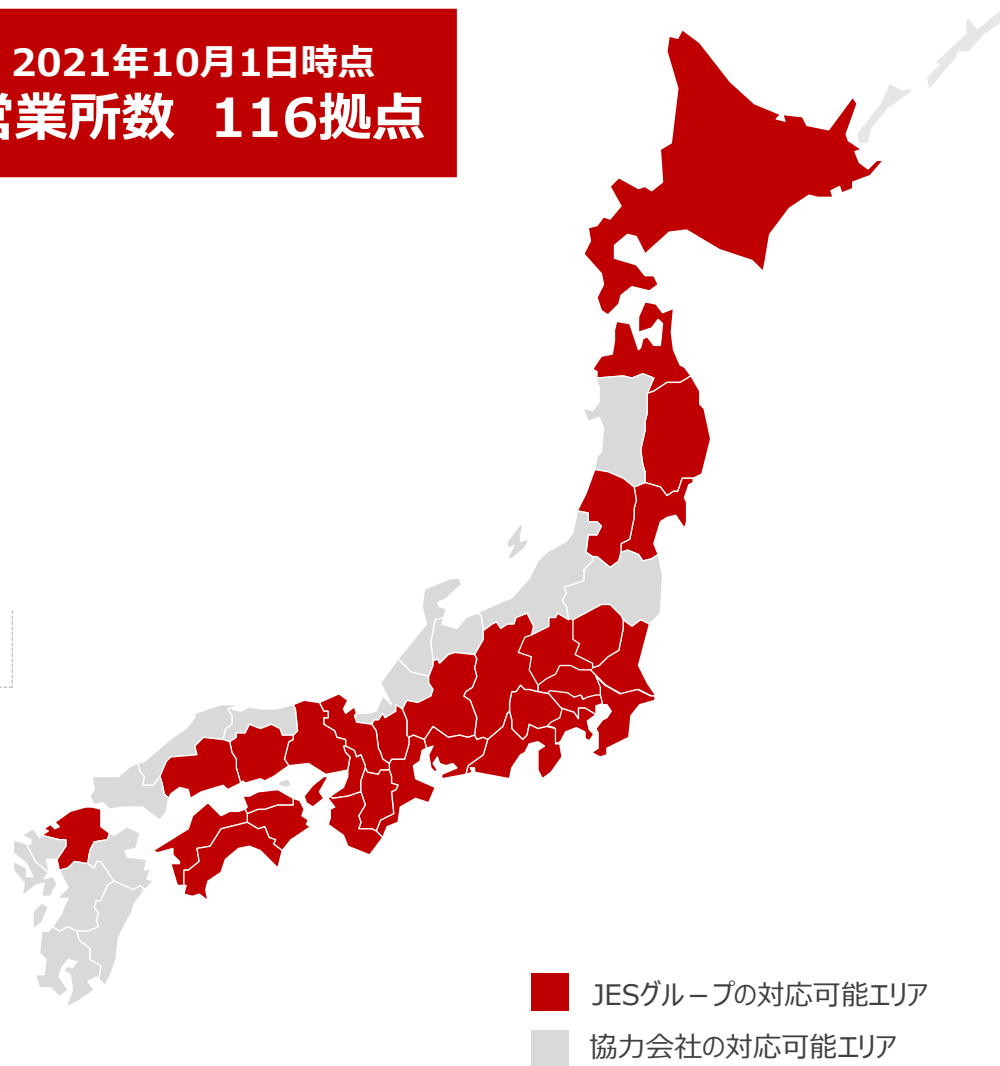
リモート遠隔点検システム  
PRIMEリリース

半期決算

\* 2014年3月期は決算期変更のため6カ月の変則決算。  
\* 2015年3月期以降は連結決算。



2021年10月1日時点  
営業所数 116拠点

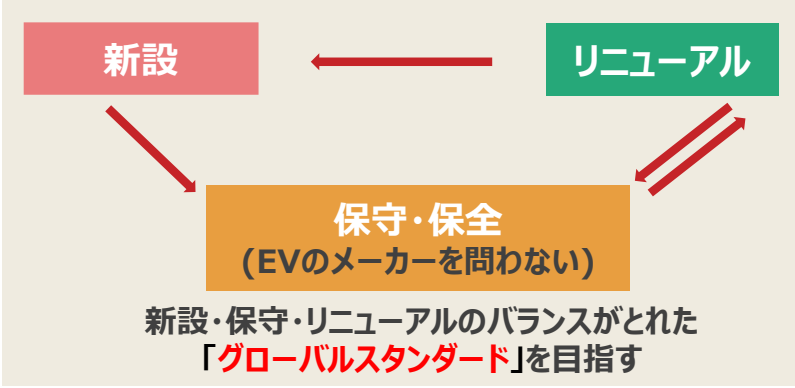


JES HD	営業所数：3拠点
JES 北海道	営業所数：9拠点
JES 城南	営業所数：16拠点
JES 城西	営業所数：22拠点 (+7)
JES 神奈川	営業所数：19拠点 (+3)
JES 東海	営業所数：8拠点 (+1)
JES 関西	営業所数：7拠点
JES 九州	営業所数：1拠点
ジャパンエレベーターパーツ	営業所数：8拠点
ジャパンパーキングサービス	営業所数：3拠点 (+1)

【M&A】

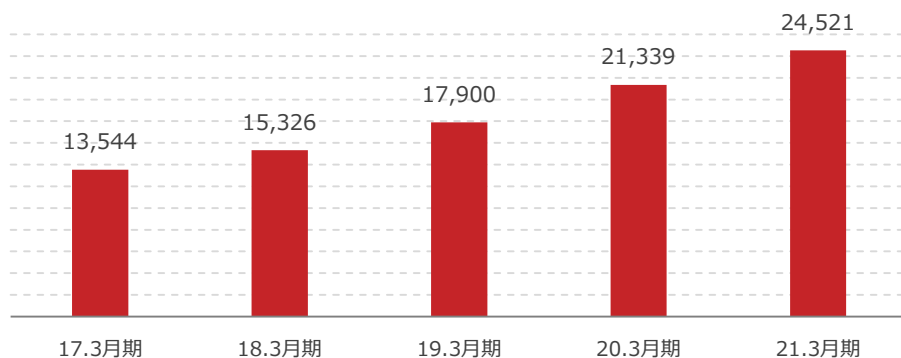
セイコーエレベーター株式会社	営業所数：1拠点
株式会社NSエレベータ	営業所数：2拠点
株式会社三好エレベータ	営業所数：6拠点
[ 株式会社コスモジャパン ]	営業所数：5拠点
株式会社長野エレベーター	営業所数：1拠点
株式会社関西エレベーター	営業所数：1拠点
東京エレベーター株式会社	営業所数：1拠点
株式会社トヨタファシリティサービス	営業所数：3拠点 (+3)
エヒメエレベータサービス株式会社	営業所数：3拠点 (+3)
四国昇降機サービス株式会社	営業所数：1拠点 (+1)
四国エレベーターサービス株式会社	営業所数：1拠点 (+1)

( ) 2021年3月末からの増減数  
[ ] 拠点併用のため、カウント除外

事業	国内		海外（東南アジア中心）
	現在	中長期	現在～中長期
保守・保全	進出地域のシェアアップによる保守契約台数の着実な増強	メーカー系保守会社に匹敵する規模を目指す	現地のマーケットニーズ、市場調査等を行い、海外メーカーとの提携可否も含めて検討
リニューアル (RN)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">一括RN</div> <div style="font-size: 20px; margin-right: 5px;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市場拡大に応じて当社及び他社保守物件への対応強化</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">Quick RN (分割RN)</div> <div style="font-size: 20px; margin-right: 5px;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">対応可能機種数増加</div> </div>	顧客のニーズに合わせてきめ細かいRNサービスを提供	
新設	当面、国内での新設事業の計画無 (但しRNは実質的にはJES製のエレベーターの新設)		
新規 (メディア事業)	EVカゴ内でのメディア事業を立ち上げるとともに保守事業へのプラス効果も狙う (顔認識システムによるマーケティング支援機能も追加)		

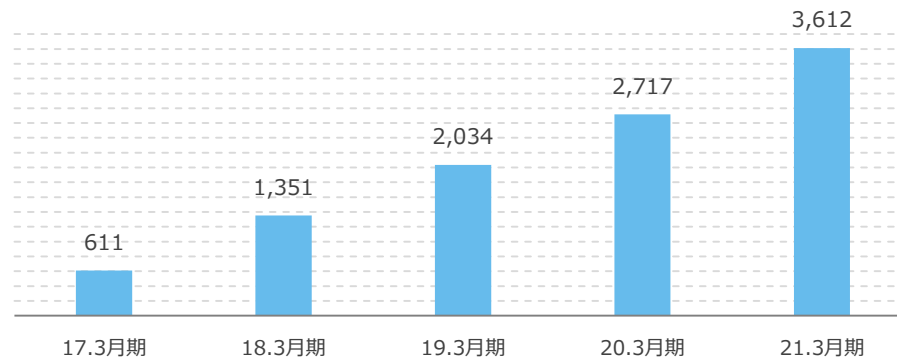
## 売上高

(百万円)



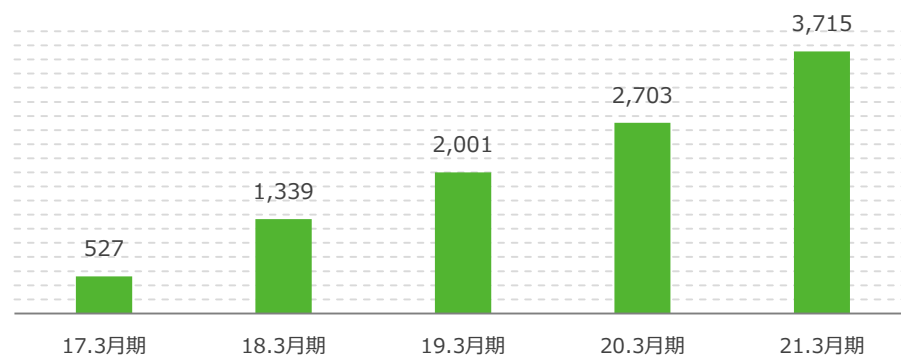
## 営業利益

(百万円)



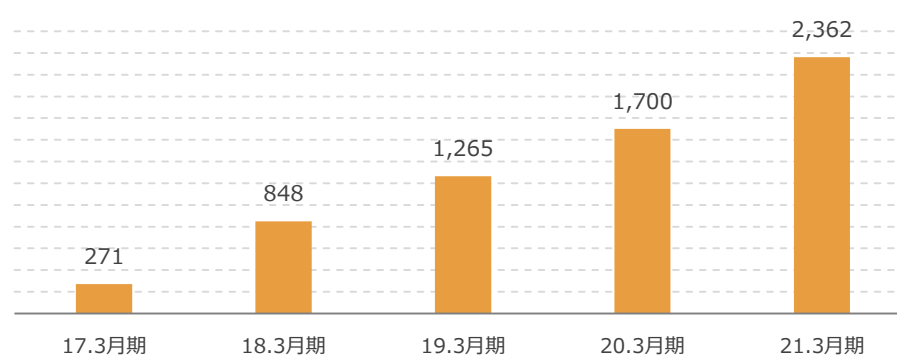
## 経常利益

(百万円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)

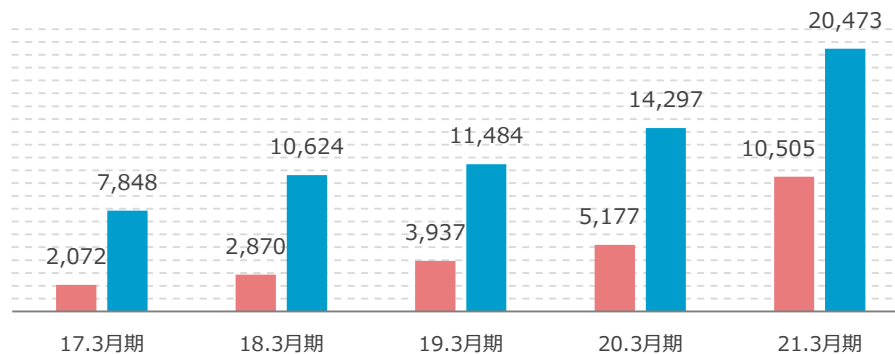


## 純資産額／総資産額

(百万円)

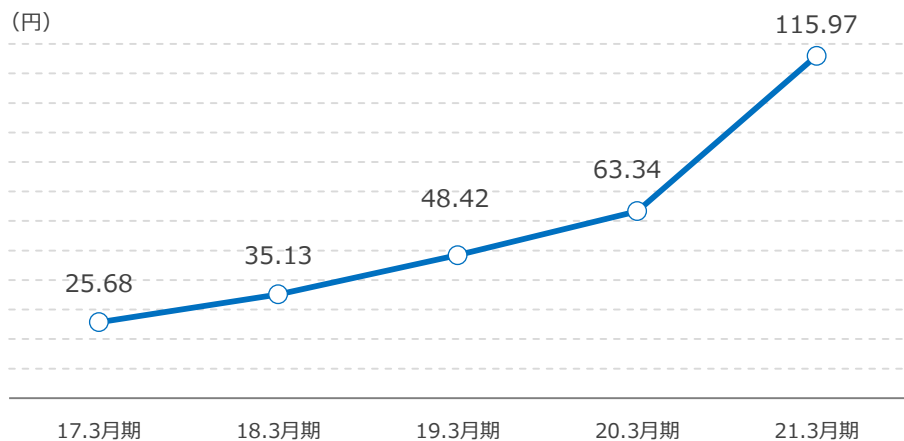
■ 純資産額

■ 総資産額



## 1株当たり純資産額

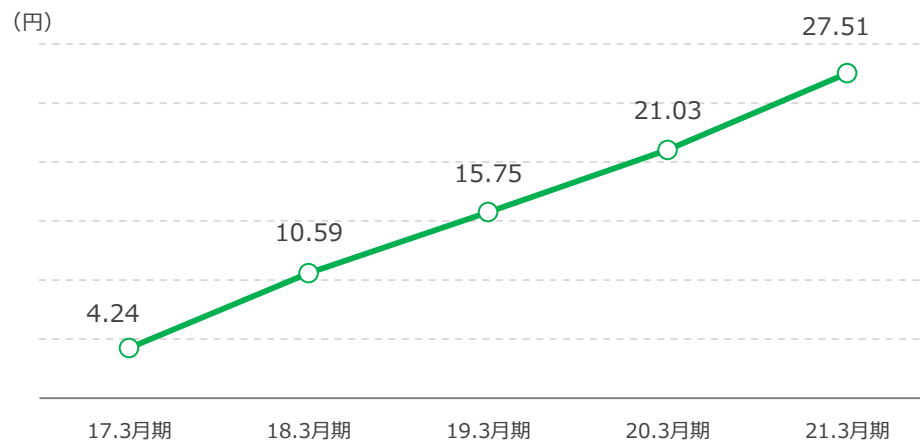
(円)



\* 1：2の株式分割（2021年1月1日効力発生）

## 1株当たり当期純利益金額

(円)



\* 1：2の株式分割（2021年1月1日効力発生）

## 免責事項

- この資料は皆様の参考に資するため、ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

## 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。